

地域保健実習

科目責任者 小 橋 元

学年・学期 4 学年・後期

I. 前 文

医師法第1条は「医師は、医療及び保健指導を掌ることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保するものとする」と定めている。医師には病院や診療所などの医療機関だけではなく、保健所、市町村保健センター、介護保険施設など、人々の生活により近い地域という場においても国民の健康な生活を確保するという役割がある。本実習は地域の保健福祉活動と、そこにおける医師の役割を理解し、その重要性を認識することを目的に行われる。また、本実習は、将来医療に携わる者としてはもちろん、社会人として当然のマナーについても厳しく確認・評価され、人間的成長の機会となることも銘記されたい。

II. 担当教員

教 授： 小 橋 元 春 山 康 夫

准教授： 小 松 渡 内 山 浩 志

講 師： 岸 久 司 高 岡 宣 子 松 原 優 里

助 教： 阿 部 美 子 高 山 英 士

保健所職員

III. 一般学習目標

保健所の行う以下の業務について見学し、保健所の機能に関する理解を深める。

- ①統計：人口動態統計，地域保健に係る統計
- ②医事：病院・診療所等の開設手続き，立ち入り検査，医師等の免許手続き
- ③薬事：薬局・医薬品販売業の許可・免許
- ④栄養改善：食環境づくりの推進，事業所等の給食施設に対する指導
- ⑤食品衛生：食中毒発生時対応，食品関係施設の営業許可・監視指導，と畜場の衛生監視・指導
- ⑥環境衛生：理・美容施設の開設届・指導，水道施設の立ち入り検査・指導，廃棄物処理
- ⑦母子保健：未熟児・身体障害児に対する支援
- ⑧精神保健福祉：こころの健康相談・健康づくり対策
- ⑨結核・感染症：感染症診査協議会結核部会，HIV/AIDS 相談・検査
- ⑩難病：在宅療養患者に対する支援・相談
- ⑪健康づくり：健康増進事業，たばこ対策
- ⑫その他：独自に行っている活動

IV. 学修の到達目標

地域保健実習が保健所職員等の協力の下に成り立っていることをよく理解し、常に感謝の念を持って行動し、実習施設に迷惑をかける態度や行動を決してとらないこと。

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1：反転授業の要素を含む授業（知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。）
2：ディスカッション，ディベート 3：グループワーク 4：実習，フィールドワーク 5：プレゼンテーション
6：その他)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
付	4	10	木	1	オリエンテーション	大 学 教 員	1
付		14	月	1-3	事前講義, 事前演習	大 学 教 員	1-6
付		16	水	1-3	プレテスト, 事前演習	大 学 教 員	1-6
付	9	12	金	4-7	テストと解説, オリエンテーション	大 学 教 員	1
1-7		16	火	1-7	事業・活動・施設見学等	保 健 所 職 員 等	1-6
8-14		17	水	1-7	事業・活動・施設見学等	保 健 所 職 員 等	1-6
15-21		18	木	1-7	事業・活動・施設見学等	保 健 所 職 員 等	1-6
22-28		19	金	1-7	事業・活動・施設見学等, 実習反省会	保 健 所 職 員 等	1-6

(注) 実習の開始時刻と終了時刻は各保健所の指示に従う。

※新型コロナウイルス対応等により、実習内容が変更されることがあります。

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

テストの成績，出席状況，実習指導担当者によるルーブリック評価，地域保健実習記録，レポートにより，総合的に評価する。

VII. 教科書・参考図書・AV資料

「公衆衛生がみえる」等，公衆衛生学に準じる。

VIII. 質問への対応方法

講座事務及び担当教員への連絡による。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	○
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	○
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	○
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	◎
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

提出されたレポートは必要に応じて添削しフィードバックを行う。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

地域保健実習では医学及び関連領域の知識、技能や態度について学ぶ。

- ・実習開始前に「地域保健実習で学びたいこと」についての事前レポート（A4：1枚）を提出する。実習中は「実習記録票」を作成し、実習指導担当者よりサイン又は印、コメントを頂くこと。実習終了後に「地域保健実習で学んだこと」についての事後レポート（A4：2枚）を提出する。詳細は全体オリエンテーション時に説明する。
- ・初日に、地域保健に関するテスト及び解説授業を行う。
- ・第2日目から4日間、保健所において実習を行う。実習先によっては実習期間や日数に変更になる場合がある。詳細は個別に連絡する。

XII. コアカリ記号・番号

PR-01-01, PR-01-02, PR-02-01, PR-02-02, PR-02-03, PR-03-01, PR-04-01, GE-01-02, GE-01-03, GE-02-01, GE-02-02, GE-02-03, GE-02-04, GE-03-01, GE-04-01, GE-04-02, CM-03-02, IP-02-02, IP-02-04, SO-01-01,

SO-01-02, SO-01-03, SO-01-04, SO-01-05, SO-02-01, SO-04-01, SO-04-02, SO-04-03, SO-04-07, SO-05-01,
SO-06-01